

Vol.7  
No.1  
Jun. 2012

# 食育学研究

The Journal of Dietary Education

- |  |                               |
|--|-------------------------------|
| 1. 巻頭言   | 細谷徳治                          |
| 2. ご挨拶   | 稲井玲子                          |
| 3. 日本食育学会 第7回大会スケジュール                                |                               |
| 4. プログラム   |                               |
| 5. 会場（名古屋経済大学サテライトキャンパス）案内図                          |                               |
| 6. 記念講演「保育と食育と教育」                                    | 小林 修                          |
| 7. 公開講演「今日から始めよう 子どもの生活リズム向上作戦<br>『食べて、動いて、よく寝よう！』   | 前橋 明                          |
| 8. 基調講演1「次世代を担う人へ」                                   | 名和田清子                         |
| 9. 基調講演2「保育雑誌に見る食と健康の取り組み<br>一月刊『保育』（1946～1947）を中心に」 | 堀田浩之                          |
| 10. シンポジウム1「からだづくりのための食育活用」                          | 川添公仁<br>原田健次<br>村上 淳<br>泉 秀生  |
| 11. シンポジウム2「多職種からみた食育によるからだづくり」                      | 木村愛子<br>長屋美奈子<br>上原正子<br>安藤浩之 |
| 12. 一般研究発表   |                               |
| 13. 実行委員・役員・会則                                       |                               |

 日本食育学会

The Science Conference of Japanese Dietary Education



# 日本食育学術会議 第7回大会

後 援：愛知県教育委員会・愛知県社会福祉協議会  
犬山市・犬山市社会福祉協議会・大口町・岐阜県  
岐阜県教育委員会・小牧市・名古屋市  
名古屋市教育委員会・尾北医師会・尾北歯科医師会・扶桑町  
(50音順)

会 場：名古屋経済大学サテライトキャンパス  
名古屋市中村区名駅 4-25-13



# 巻 頭 言

第7回大会会長  
細谷 徳治  
(名古屋経済大学 教授)

食育基本法が成立し施行されてから、間もなく7年目を迎えようとしています。そして、食育推進基本計画に基づいて食育が様々な場面で展開され、その成果が次第に大きくなって、国民の健康づくりに反映されるべきものとして、大いに期待されているところでもあります。

現在の子どもを取り巻く状況は、朝食の欠食、肥満・痩身傾向児の増加、生活習慣病の低年齢化など、多くの課題が山積しており、食育推進の必要性が高まっています。栄養士・管理栄養士養成にかかわる立場から子どもたちの状況を見ると、食育の推進にもっと力を注がなくてはならないという思いに駆られます。

児童・生徒の食育推進にもっとも重要な位置にある一人が、栄養教諭であります。学校における食育は、生きた教材である学校給食を通じて行われ、その成果は着実に高まってきています。

「45分で子どもは変わる」というお話を伺ったことがあります。小学校の授業時間は1単元45分ですから、社会科の授業や特別活動の中で食育の授業を行うこともあるでしょう。「45分でも子どもは変わる」の思いで、授業計画案を作成し、その成果を評価することを日夜検討されている現場の先生方には頭の下がる思いであります。「命の大切さ」というテーマで、私たちが食べている食べ物には命があることを学び、その命あるものにより私たちは生かされているという学びの中で、野菜嫌いな子が、みんなでいっしょにその野菜を食べることができたという話を聞きました。このような小さな一步一步の積み重ねが大切であり、結果的には、望ましい生活習慣、食習慣を身につけることが大切であるというところに行きつくのではないのでしょうか。

本大会は、記念講演として「保育と食育と教育」、公開講演として「今日から始めよう子どもの生活リズム向上作戦」{食べて、動いて、よく寝よう！}等、現代の食育が抱える問題点をテーマとする内容であり、改めて食育を考える良い契機となるものと思います。また、多くの発表を通じて、子どもの健康なからだづくりを様々な分野の皆様と議論していただき、実りある大会にさせていただきたいと願います。

なお、本大会を開催するに当たり、ご尽力いただきました関係各位の皆様に、厚く御礼と感謝を申し上げます。

# ご 挨拶

日本食育学術会議  
理事長 稲井 玲子  
(名古屋経済大学 教授)

日本食育学術会議第7回大会を平成24年6月16日・17日の両日、愛知県にあります名古屋経済大学サテライトキャンパスにおいて、開催させていただきますことを誠に光栄に存じます。

また、皆様のお力添えのおかげで2006（平成18）年、食育基本法の施行とほぼ同時期に発足した日本食育学術会議も7年目を迎えられました事に、心より御礼申し上げます。

平成17年7月に『食育基本法』が施行され、多方面において活動が行われてきていることは、皆様ご周知のことであると思います。

しかしながら、現代の日本においては、超少子高齢化に歯止めがかかることはなく、単に寿命を延ばすだけでなく、いかに健康寿命を延伸させるかということが大きな課題であると感じます。

この様な中、平成23年には『第2次食育推進基本計画』が施行され、子どもからお年寄りまでのそれぞれのライフステージにおける細やかな食育活動の必要性が示され、これらを念頭に活動が行われていることと思います。

本学術会議は、この健康長寿の基本は成長期からのからだづくりが大切であると考え、子どものからだづくりを中心に食育を通した活動を行っております。

今回の大会においては、この活動の主旨である「生活リズム向上作戦！食べて・動いて・よく寝よう！」をテーマとし、多方面からの食育活動を通したからだづくりについての活発な意見交換を行う場として、開催させていただくこととなりました。

今大会において、これらの各種講演・シンポジウム・一般発表を通し、皆様の今後の活動に活かされますことを願っております。

# 目 次

巻 頭 言	.....	i
ご 挨拶	.....	ii
目 次	.....	iii
第7回大会スケジュール	.....	iv
プログラム	.....	v
会場案内（名古屋経済大学サテライトキャンパス）交通案内	.....	xi
記念講演	.....	1
「保育と食育と教育」		
小林 修		
公開講演	.....	3
「今日から始めよう 子どもの生活リズム向上作戦		
『食べて、動いて、よく寝よう！』		
前橋 明		
基調講演 1	.....	13
「次世代を担う人へ」		
名和田 清子		
基調講演 2	.....	15
「保育雑誌に見る食と健康の取り組み		
一月刊『保育』（1946～1947）を中心に」		
堀田 浩之		
シンポジウム 1	.....	17
「からだづくりのための食育活用」		
川添 公仁・原田 健次・村上 淳・泉 秀生		
シンポジウム 2	.....	25
「多職種からみた食育によるからだづくり」		
木村 愛子・長屋 美奈子・上原 正子・安藤 宏幸		
一般研究 発表要旨	.....	31
大会協賛	.....	102
第7回大会実行委員	.....	113
学会組織・役員	.....	114
会 則	.....	115
編集後記	.....	116

# 日本食育学術会議 第7回大会スケジュール

6月16日(土)

時	9					10					11					12				
分	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50
6月16日(土)	各種委員会					理事会					受付					開 会 式				

時	13					14					15					16					17					
分	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	
6月16日(土)	記念講演 「保育と食育と教育」  名古屋経済大学 小林 修 先生					研究発表 A					基調講演 1 「次世代を担う人へ」  島根県立大学 名和田清子 先生					休 憩	シンポジウム 1 「からだづくりのための食育活用」 川添 公仁 先生 (名古屋経済大学) 原田 健次 先生 (京都西山大学) 村上 淳 先生 (中国学園大学) 泉 秀生 先生 (郡山女子大学)									

時	18					19				
分	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50
6月16日(土)	懇親会									

6月17日(日)

時	8					9					10					11					12				
分	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50
6月17日(日)	受付					研究発表 B 研究発表 C 研究発表 D					基調講演 2 「保育雑誌に見る食と健康の取り組み」 ひかりのくに 堀田浩之先生					公開講演 「今日から始めよう、 子どもの生活リズム向上作戦 『食べて、動いて、よく寝よう!』」  早稲田大学大学院 前橋 明 先生					昼食				

時	13					14					15					16				
分	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50
6月17日(日)	シンポジウム 2 「多職種からみた食育によるからだづくり」 木村 愛子 先生 (前岡崎市役所) 長屋美奈子 先生 (真正中学校) 上原 正子 先生 (みずほ大学短期大学部) 安藤 宏幸 先生 (多賀小学校)										休 憩	研究発表 E 研究発表 F 研究発表 G					休 憩	総 会	閉 会 式	



# プログラム

第1日目 6月16日(土)

9:30～10:30

(ホール 10F)

各種委員会

- ・組織委員会
- ・紀要編集委員会
- ・広報委員会
- ・食育推進委員会
- ・食育研修委員会

10:30～12:00

(ホール 10F)

理事会(実行委員会)

12:00～12:50

(ホール 10F)

昼食・受付開始

12:50～13:00

(ホール 10F)

開会式

歓迎の辞

細谷 徳治

(名古屋経済大学 人間生活科学部管理栄養学科 主任 教授)

13:00～14:00

(ホール 10F)

記念講演

「保育と食育と教育」

講師: 小林 修 (名古屋経済大学人間生活科学部 学部長 教授)

座長: 浅川 和美 (山梨大学大学院)

14:05～14:55 ..... 一般研究発表 A .....  
(ホール 10F)

座長：石井 浩子 (京都ノートルダム女子大学)

波多 真理子 (中国企業株式会社)

1. 幼児の生活習慣分析に基づいた生活リズム向上戦略の展開 (VI)  
—岡山市の保育園幼児の朝の生活実態 (2011年調査報告) とその課題—  
泉 秀生 (郡山女子大学)
2. 肥満患者における味覚・嗅覚検査結果  
浅野 舞 (名古屋女子大学)
3. 「なごや健康カレッジ」における高齢者の食事内容に関する研究  
井上 真由香 (名古屋女子大学)
4. 保育園における食育活動  
—園児の食生活実態及び保護者の食に対する意識の把握—  
高垣 明奈 (せつつ保育園)
5. 保育園生活時における幼児の食と身体活動量の実際  
松井 友美 (さつき保育園)

15:00～16:00 ..... 基調講演 1 .....  
(ホール 10F)

「次世代を担う人へ」

講師：名和田 清子 (島根県立大学 教授/医学博士)

座長：佐野 裕子 (仙台白百合女子大学)

16:10～18:30 ..... シンポジウム 1 .....  
(ホール 10F)

「からだづくりのための食育活用」

シンポジスト：

川添 公仁 (名古屋経済大学)

原田 健次 (京都西山短期大学)

村上 淳 (中国学園大学)

泉 秀生 (郡山女子大学)

コーディネーター：多賀 昌樹 (和洋女子大学)

座長：廣本 美知子 (鈴峯女子短期大学)

18:30～ ..... 懇親会 .....  
(ホール 10F)

第2日目 6月17日(日)

8:30~9:00 ..... 受付開始 .....  
(エントランス 1F)

9:00~10:00 ..... 一般研究発表 B・C・D .....

<研究発表 B> (ホール 10F)

座長：笠間 基寛 (大阪青山大学)  
稲森 玲奈 (ひまわり病院)

1. 韓国ソウルの幼児の生活実態とその課題  
金 賢植 (早稲田大学大学院)
2. 学童向け栄養素の科学講習会の実践報告  
—科学実験と調理実習のコラボレーション—  
多賀 昌樹 (和洋女子大学)
3. 小学生における学校充実度と生活習慣・食習慣との関係  
秋山 富世 (神拝小学校)
4. 島根県出雲市の幼児の生活実態  
—祖父母といっしょに朝食を摂取する子どもの生活—  
浅川 和美 (山梨大学大学院)

<研究発表 C> (93 講義室 9F)

座長：射越 亜弥子 (里庄中学校)  
熊崎 貴仁 (名古屋経済大学)

1. 子どもの意欲を高める保育園の食環境づくり  
末田 典子 (作陽保育園)
2. 「なごや健康カレッジ」における高齢者の体型に対する意識調査結果  
跡部 奈採 (名古屋女子大学)
3. 「なごや健康カレッジ」における高齢者の食生活習慣に関する研究  
岩田 彩伽 (名古屋女子大学)
4. 小学生および中学生における運動習慣と生活習慣・食習慣との関係  
森 博史 (岡山理科大学)

<研究発表 D> (92 講義室 9F)

座長：岩本 直樹 (北里大学保健衛生専門学院)  
長谷川 大 (立正大学)

1. 児童における学校の充実度と生活習慣・食習慣との関係  
三木 早織 (名古屋経済大学大学院)
2. 小学生・中学生における通学時の体温と生活習慣・食習慣との関係  
宇佐見 祐加 (名古屋経済大学大学院)

3. 小学生における咬合力と生活習慣・食習慣との関係

石黒 寛満 (名古屋経済大学大学院)

4. 中学生における「早寝早起き朝ごはん」の実践と生活習慣との関係

神里 翔也 (名古屋経済大学)

10:10～10:40 ..... 基調講演 2 .....  
(ホール 10F)

「保育雑誌に見る食と健康の取り組み  
一月刊『保育』(1946～1947)を中心に」

講 師：堀田 浩之 (ひかりのくに)

座 長：長谷川 大 (立正大学)

10:50～12:20 ..... 公開講演 .....  
(ホール 10F)

今日からはじめよう 子どもの生活リズム向上作戦  
「食べて、動いて、よく寝よう！」

講 師：前橋 明 (早稲田大学大学院 教授/医学博士)

座 長：鵜飼 真理子 (京都ノートルダム女子大学)

12:20～13:00 ..... 昼食時間 .....  
.....

13:00～15:00 ..... シンポジウム 2 .....  
(ホール 10F)

「多職種からみた食育によるからだづくり」

シンポジスト：

木村 愛子 (前 岡崎市役所)

長屋 美奈子 (本巣市立真正中学校 養護教諭)

上原 正子 (みずほ大学短期大学部)

安藤 宏幸 (西条市立多賀小学校 校長)

コーディネーター：片山 直美 (名古屋女子大学)

座長：有木 信子 (作陽保育園)

## &lt;研究発表 E&gt; (ホール 10F)

座長：森 博史 (岡山理科大学)  
中村 喜久江 (福山平成大学)

1. 八雲町住民健診における高齢者の味覚・嗅覚検査結果  
片山 直美 (名古屋女子大学)
2. 「なごや健康カレッジ」における高齢者の運動習慣に関する研究  
鈴木 奈津美 (名古屋女子大学)
3. 家庭的保育利用児の生活実態と健康福祉上の課題 (1)  
—2011 年度全国調査結果の検討—  
佐野 裕子 (仙台白百合女子大学)
4. 朝の排便状況別にみた幼児の生活状況と体力  
—広島市の保育園幼児を対象として—  
森 菜緒 (早稲田大学大学院)
5. 現代家庭での離乳食の実態  
～離乳食における保育園が担う役割とは～  
塩尻 真由美 (さつき保育園)
6. 南魚沼の特産品「八色しいたけ」を使った子ども向けレシピ集の開発  
石井 大 (北里大学保健衛生専門学院)
7. 地域活性化を目指したご当地バーガーによる南魚沼市の食文化体験  
—セカンドスクールを通して—  
岩本 直樹 (北里大学保健衛生専門学院)

## &lt;研究発表 F&gt; (93 講義室 9F)

座長：廣田 貴子 (東海中央病院)  
須田 あゆみ (前朝ヶ丘女子短期大学)

1. 韓国仁川市における児童の生活状況とその課題  
李 珣京 (早稲田大学大学院)
2. 東北震災支援活動に参加して (報告)  
廣本 美知子 (鈴峯女子短期大学)
3. 東日本大震災のボランティアに対する食事サポートの活動報告  
井上 予志栄 (広島県社会福祉協議会)
4. 子育て支援センターにおける食育への取り組み  
—くまちゃんクラブ、ぴよちゃんクラブでの活動を通じて—  
長谷川 大 (立正大学)
5. 中学生における学校の充実度と生活習慣・食習慣との関係  
井澤 悠人 (名古屋経済大学大学院)

6. 「早寝早起き朝ごはん」の実践と生活習慣・食習慣との関係  
奥村 隼也 (名古屋経済大学)
7. 幼児の生活時間と歩数・体格・体力要因相互の関連性  
石井 浩子 (京都ノートルダム女子大学)

<研究発表 G> (92 講義室 9F)

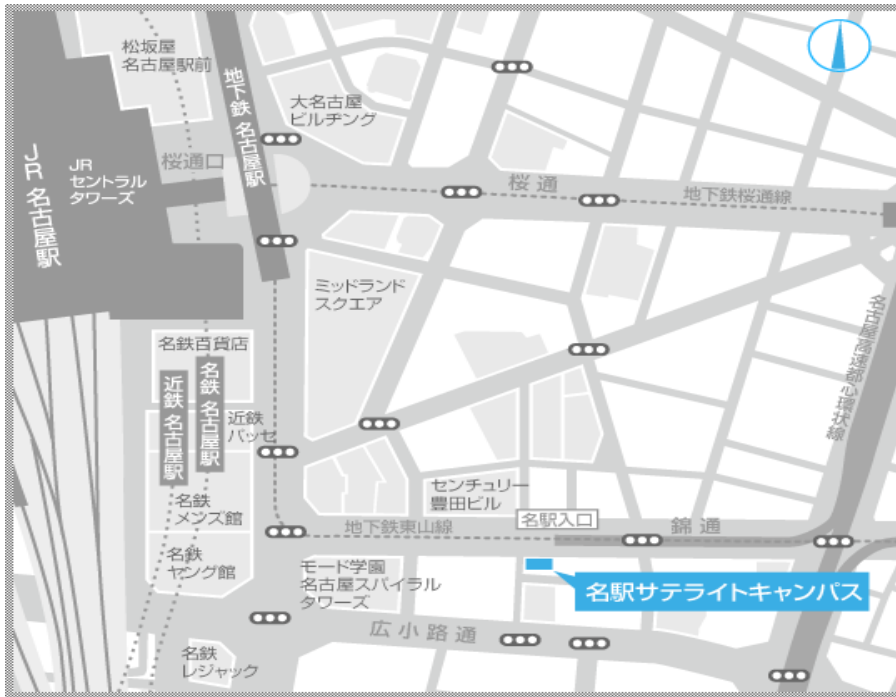
座 長：多賀 昌樹 (和洋女子大学)  
杉原 康平 (徳島大学大学院)

1. 小学生の早寝早起き朝ごはん と生活習慣・食習慣との関係  
上野 裕貴 (名古屋経済大学)
2. 児童および保護者における生活習慣・食習慣実態調査からの検討  
—NU 小学校—  
寺田 晋一郎 (名古屋経済大学)
3. 児童および保護者における生活習慣・食習慣実態調査からの検討  
—KI 小学校—  
廣瀬 隼人 (名古屋経済大学)
4. 東日本大震災の被災者における食習慣の現状  
岡本 洋子 (鈴峯女子短期大学)

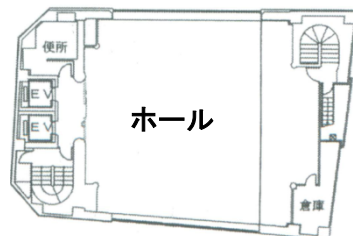
16:30～16:50 ..... 総 会 .....

16:50～ ..... 閉 会 式 .....

# 会場案内

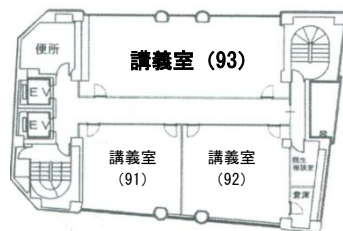


所在地	〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-25-13
公共交通機関でお越しの方	名古屋駅（地下鉄・JR・名鉄・近鉄・あおなみ線）より「ミヤコ地下街4番出入口」から東へすぐ
お車でお越しの方	駐車場はございませんので、お近くの有料駐車場をご利用ください。



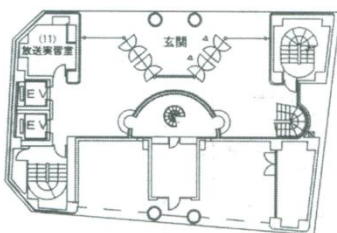
## 【10F】

- ・メイン会場
- ・第1研究発表会場
- ・男性用トイレ



## 【9F】

- ・第2研究発表会場
- ・第3研究発表会場
- ・休憩室
- ・女性用トイレ



## 【1F】

- ・受け付け
- ・自動販売機